

梱包明細

梱包明細表により部材・部品をご確認下さい。

名称	製品記号		内容明細
	W: 3000	W: 2700	
2型 けたセット	CCR2Y50 HCR2Y50		けた.....左右各1
3型 けたセット	CCR3Y50 HCR3Y50		雨樋セット.....1
2型 妻たる木 セット	CCR2HT30 HCR2HT30	CCR2HT27 HCR2HT27	妻たる木(A).....1
			妻たる木(B)・押え材.....1組
			方づえ.....8
			端部用棟木・押え材.....2組
			端部用中骨.....8
			部品セット.....1
			妻たる木(A).....1
			妻たる木(B)・押え材.....1組
			方づえ.....8
			端部用棟木・押え材.....2組
		端部用中骨.....4	
		部品セット.....1	
部品セット明細			たる木取付ネジ(M5×16).....28
			棟木・中骨取付ネジ(M5×16).....65
			けた固定六角ボルト(M8×75,袋ナット,ワッシャー).....8
			方づえ取付ひし形ボルト(M8×35,袋ナット,ワッシャー).....16
			方づえ取付六角ボルト(M8×45,ワッシャー).....16
			押え材取付ネジ(M5×16).....96
			アンカープレート.....4
			アンカープレート取付ネジ(テクス4×13).....16
			後付ビード(けた用).....1
			後付ビード(妻たる木用).....1
			説明書.....1
3型 妻たる木 セット	CCR3HT30 HCR3HT30	CCR3HT27 HCR3HT27	妻たる木(A).....2
			方づえ.....8
			端部用棟木・押え材.....2組
			端部用中骨.....8
			部品セット.....1
			妻たる木(A).....2
			方づえ.....8
			端部用棟木・押え材.....2組
			端部用中骨.....4
			部品セット.....1
部品セット明細			たる木取付ネジ(M5×16).....28
			棟木・中骨取付ネジ(M5×16).....65
			けた固定六角ボルト(M8×75,袋ナット,ワッシャー).....8
			方づえ取付ひし形ボルト(M8×35,袋ナット,ワッシャー).....16
			方づえ取付六角ボルト(M8×45,ワッシャー).....16
			押え材取付ネジ(M5×16).....83
			アンカープレート.....4
			アンカープレート取付ネジ(テクス4×13).....16
			後付ビード(けた用).....1
			後付ビード(妻たる木用).....1
			説明書.....1
2型・3型 たる木 セット	CCR2T30 HCR2T30	CCR2T27 HCR2T27	たる木・押え材.....5組
2型・3型 柱セット	CCR2P HCR2P		雨樋柱.....2 柱.....2
2型・3型 棟木・中骨 セット	CCR2N30 HCR2N30	CCR2N27 HCR2N27	棟木・押え材.....4組
			中骨.....16
屋根材	CCR2AR30 CCR2A30	CCR2AR27 CCR2A27	Rパネル.....2 直線パネル(アクリル板).....2
			直線パネル(アクリル板).....4

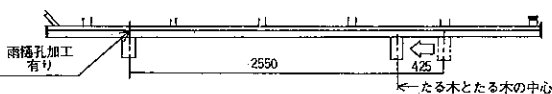
屋根材1セット使用数

2型の場合：CCR2AR001梱包+CCR2A002梱包

3型の場合：CCR2AR002梱包+CCR2A001梱包

別売品に関してはカタログをご参照下さい。

2型にサイドパネルを付ける時は下図の様に、けたの柱固定ブラケットを付け直して下さい。移動方法は裏面の「柱を移動する場合」の項をご参照下さい。



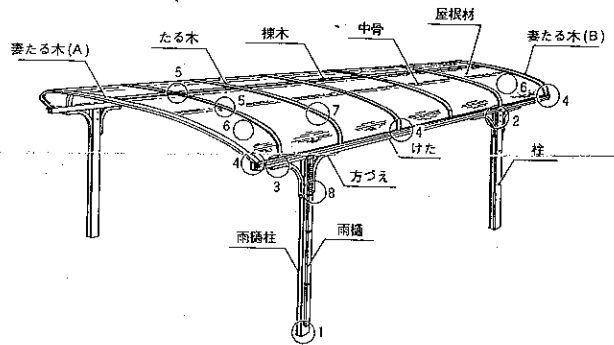
工事店様へのお願い

- 新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を、十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意して下さい。
- (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用して下さい。
- (2) モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意して下さい。
抽出液は強アルカリ性で、しみやわら等の外観不良や腐食の原因になります。
- (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、強化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用して下さい。
- (4) 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃して下さい。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意して下さい。
- (5) アルミ製品と銅板やガラス等の異種金属が接触しないようにして下さい。
接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をして下さい。
- (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生して下さい。
- 積雪地域での施工は避けて下さい。
- みだりに改造等の仕様変更は避けて下さい。
- 施工終了後、説明書は施工主様へお渡し下さい。

お施主様へのお願い

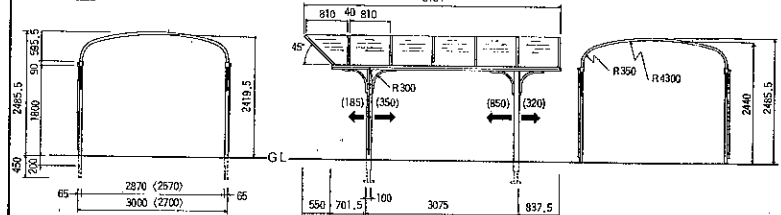
- 積雪が10cmを超えないうちに必ず雪おろしをして下さい。
- 絶対に屋根の上に乗らないで下さい。
- 屋根材にはアクリル板を使用しています。清掃の時は水洗いして下さい。
なお汚れがひどい時は中性洗剤を使用し、その他の薬品は使用しないで下さい。

姿図及び基本寸法

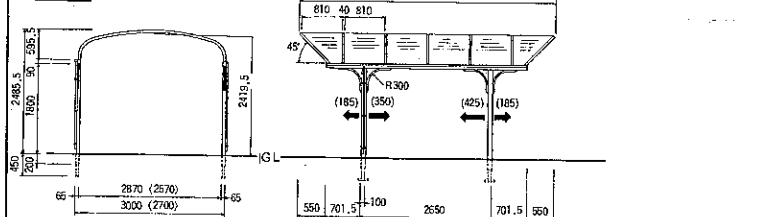


上図は2型です

2型



3型



(注) ➡は柱の移動可能範囲を示しています。

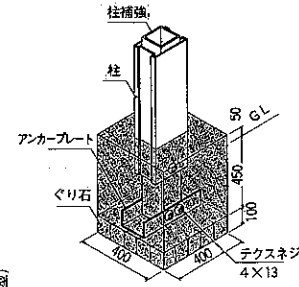
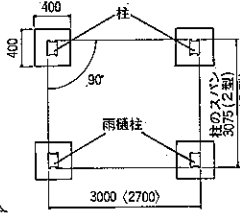
組立工具

- ボックスレンチ・電気ドライバー⊕をご用意下さい。

◆ 取付け順序

1. 柱の施工

- 柱にアンカープレートを取付けて下さい。
- 設置場所の柱位置を確認して下さい。
- 標準施工時の寸法(下図参照)
柱のスパン及び柱の垂直には気を付けて施工して下さい。

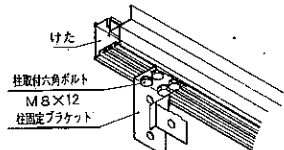


- 柱を移動する場合
調整範囲は表の「姿図及び基本寸法」の項をご参照下さい。

調整方法

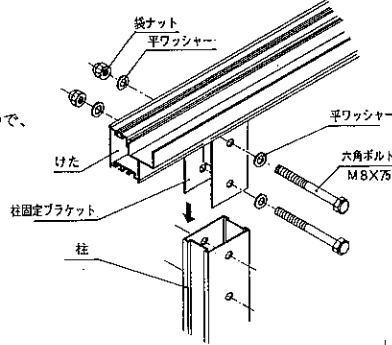
ボックスレンチで柱固定ブラケットのボルトをゆるめブラケットを任意の位置に固定します。

- コンクリート施工は骨組完了後に行います



2. けたの取付け

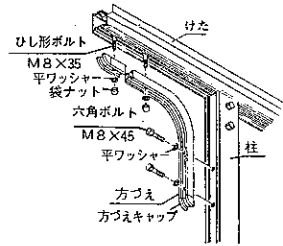
- けたには雨樋取付孔があいていますので、その位置に雨樋柱を取付けて下さい。



3. 方づえの取付け

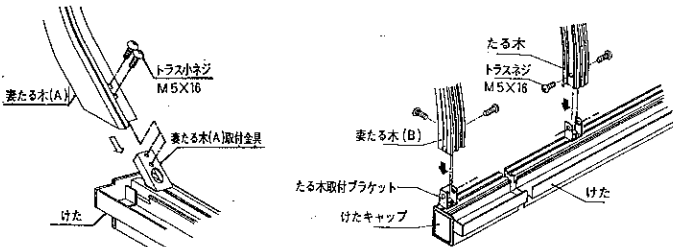
- 手順

- (1) けたにひし形ボルトを差し込み、六角袋ナットで仮止めて下さい。
- (2) 柱に六角ボルトで固定して下さい。
- (3) 六角袋ナットを締め込んで下さい。



4. 妻たる木・たる木の取付け

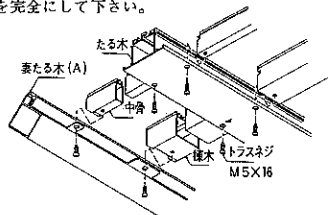
- 取付けは妻たる木→たる木→中骨→棟木の順で1スパン毎に行ってください。注)たる木の押え材を仮止めているネジは、はずして下さい。



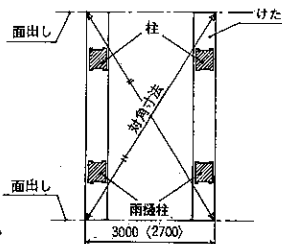
5. 棟木・中骨の取付け

- 取付けの際、たる木と棟木・中骨のはめ合いを完全にして下さい。

- 妻たる木(A)用の棟木及び中骨は他のものとは加工が異なりますので注意して下さい。



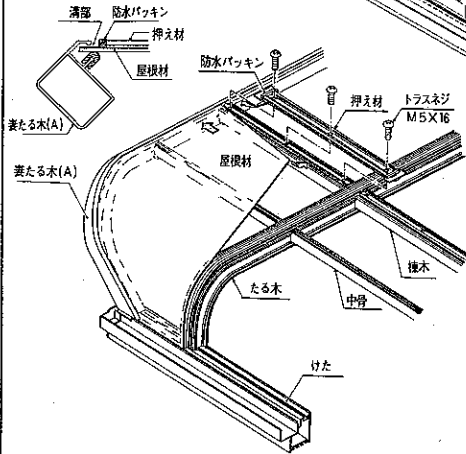
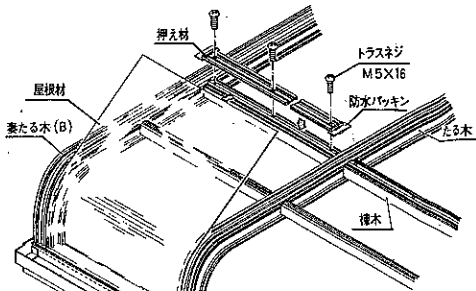
- 骨組完了後、けたの端部の面出しをして下さい。対角寸法に狂いがないようにします。



- 水平・垂直を確認の上コンクリート施工して下さい。

6. 屋根材の取付け

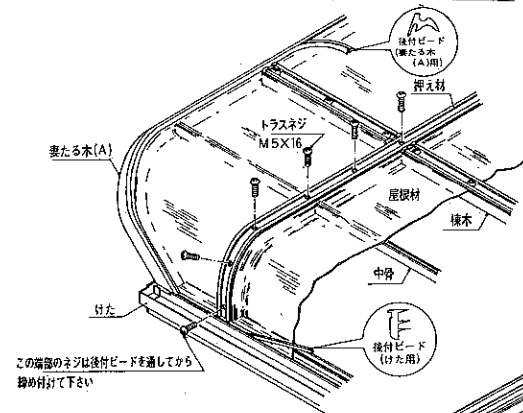
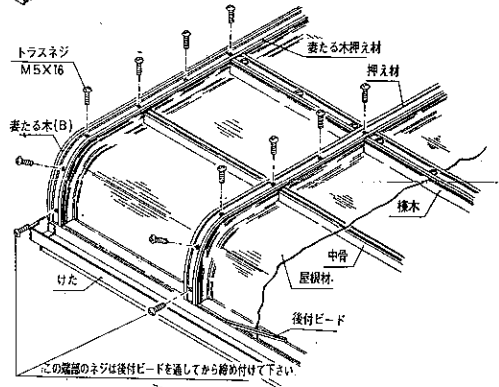
- 屋根材は裏側のマスキングシート(表側のマスキングシートは施工完了後)をはがして、けたの溝及び妻たる木(A)の溝に差し込みます。
- 屋根材がたる木のビード及び棟木のビードに充分にかかる様調整して下さい。



- 対面の屋根材も同様に押しえ材で固定して下さい。妻たる木(A)の場合には、押しえ材についての防水パッキンのビスを溝部に差し込んで下さい。

7. 押しえ材の取付け

- 妻たる木(B)の押しえ材には、片側に先付ビードがありませんで注意して下さい。
- 押しえ材は中央より順に端へ固定して行きます。
- けたの溝及び妻たる木(A)の溝に差し込んだ屋根材は後付ビードを通して押えて下さい
- けたと妻たる木(A)の後付ビードは形状が異なりますので注意して下さい。



- 取付けの際、たる木と棟木・中骨のはめ合いを完全にして下さい。

8. 雨樋の取付け

